



2018 No.167

# くるめ福祉

# 7

発行 久留米市社会福祉協議会



## 久留米市災害ボランティアセンター設置運営訓練

5月27日、三潯校区コミュニティセンターで災害時に支援活動を行うボランティアを受け入れる災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。



# 久留米市社会福祉協議会

## 平成29年度事業報告

平成29年度の主な取り組みと決算状況をお知らせします。

### 地域での福祉活動の推進

○地域福祉活動を推進するため、市内を7人の職員が担当し、校区の実状に応じた地域福祉活動に取り組みました。また、個別課題にも積極的に関わり、校区コミュニティ組織等と協働して、解決に向けた支援を行いました。

○ふれあい・いきいきサロン（4ページ参照）を活性化するため、サロンを支援するボランティアアグループの研修を実施しました。新たに9つのサロンが設置され、市内でのサロン総数は、266か所になりました。



支え合い推進会議



ふれあい・いきいきサロン

### 支え合いの

#### 地域づくりのために

○生活支援コーディネート（※1）を2人から4人に増員し、支え合い推進会議（4ページ参照）設置のため、校区コミュニティ組織等への事業説明や支え合い推進会議研修会を開催しました。13校区で設置され、市内での設置校区は、18校区になりました。

### 支援が必要な

#### 人たちのために

○6月から市内の社会福祉法人の参加を促進しながら、「ライフレスキュー久留米連絡会」（※2）を設置。生活困窮者が生活を立て直すための支援を行いました。

生活福祉資金貸付事業では614件の相談と135件の貸付申請を受付しました。また、日常生活自立支援事業（※3）で

は、139人にサービスを提供しました。

### 成年後見センター事業の推進

○成年後見センター業務の円滑な運営に努め、制度の普及・啓発や利用促進を図りました。延べ379件の相談を受付しました。

○市社会福祉協議会が後見人となる法人後見事業を行いました。新たに16件を受任しました。法人後見運営委員会の意見も踏まえ事業の円滑かつ適正な運営に努めました。

### 育てます 福祉の心

○福祉教育プログラム集や福祉教材を市内小学校・特別支援学校に配布し、学校での福祉教育を支援しました。

○学校・企業などを対象に、障害がある当事者やボランティア活動者を講師として派遣し、啓発活動に取り組みました。



小学校での講演

### ボランティア活動の推進のために

○ボランティア活動の促進に向け、ボランティアセンターの基本的役割であるボランティア相談に取り組み、来所または電話等による243件の相談に対応しました。



## 九州北部豪雨災害の対応

○昨年7月に発生した九州北部豪雨では、朝倉



ボランティアフェスティバル

○ボランティア活動に対する市民の関心を高め、活動への参加につなげることを目的に「久留米市ボランティアフェスティバル」を開催しました。

○ボランティアセンター情報紙「まれつと」を発行し、ボランティアの募集やボランティア団体を活性化するための情報を発信しました。

## わかりやすい

## 広報をめざして

○SNSを活用し、活動に

参加したくなるような広報に努めました。また、

「くるめ福祉」の紙面の見直しに取り組みました。



災害支援ボランティアバス

市災害ボランティアセンターに職員を派遣しました。また、市との共催で久留米市災害支援ボランティアバスを運行し、50日間で延べ753人の市民ボランティアが活動に参加しました。

## 用語解説

(※1) 生活支援コーディネーター

支え合い推進会議の支援や、地域における調整役（困りごとの調査、地域を支える人の発掘・育成、団体同士が連携できる関係づくり、困りごとが解決できるよう様々なサービスにつなぐ役割など）を担います。

(※2)

ライフレスキュー久留米連絡会

県社会福祉協議会が平成29年4月にふくおかライフレスキュー事業を開始しました。この事業は、何らかの原因で生活が苦しく、既存の制度では解決できない方々を対象に、各社会福祉法人が配置したサポーターが相談を受け社会福祉法人のそれぞれ専門性や資源を活かして支援するものです。この事業の開始に伴い、平成30年1月に市社会福祉協議会でも市内の社会福祉法人の協力のもと「ライフレスキュー久留米連絡会」を立ち上げました。

(※3)

日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用や、日常的な金銭管理などに不安がある人が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いします。

## 収入の内訳

その他の収入  
6.5%  
45,690,371円

●会費  
●事業収入  
●積立資産取崩収入  
●その他

寄付金収入  
5.7%  
40,229,187円

共同募金配分金収入  
8.6%  
60,504,626円

介護保険等収入  
32.5%  
227,706,069円

収入  
701,685,579円

補助金・  
受託金等収入  
46.7%  
327,555,326円

その他の支出  
9.4%  
65,857,417円

●固定資産取得支出  
●基金積立資産支出  
●積立資産支出  
●その他

事務費支出  
1.9%  
13,235,591円

助成金支出  
10.5%  
73,442,480円

事業費支出  
20.5%  
143,416,507円

支出  
698,862,728円

## 支出の内訳

人件費支出  
57.7%  
402,910,733円

## 平成29年度 決算報告



## 身近なところでいいことたくさん 校区社会福祉協議会の福祉活動

— ふれあい・いきいきサロン —

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な小地域（自治会等）を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。市内には、こうしたサロンと呼ばれる「集いの場」が260か所以上あります。

### 柴刈校区「片の瀬新町お楽しみ会」

「片の瀬新町お楽しみ会」は、片の瀬新町自治会を中心に立ち上がった柴刈校区内で初めてのふれあい・いきいきサロンです。片の瀬新町公民館で活動をしています。

サロンでは、講師を招いた講座や、ボランティアによるレクリエーション、食材を持ち寄って食事作りをするなど自由に楽しめる場になっています。

この日、参加されていた阿久根トミさん（93歳）にお話を伺うと、「最近では、一人暮らしのお年寄りだけでなく、家族と同居されているお年寄りさえも寂しい思いをしている。このような集いの場は、地域の人や家族、みんなの思いやりの気持ちであふれる大切な場所。住民が他人事じゃなくて、我が事と考え、ぜひ他の自治会でもこういう場所を作ってもらいたい。」と話されていました。

講座やレクリエーションは住民が集まるきっかけであり、サロンでの食事作りや語らいが、参加者の皆様にとつて月1回のお楽しみとなっています。



この日もみんなで楽しくお食事中

## 地域包括ケアシステムの構築にむけて⑤

今回は、金島校区支え合い推進会議の井上会長にお話を伺いました。



### 支え合い推進会議について

金島校区支え合い推進会議 会長 井上 一也さん

少子高齢化が急速に進む中、金島校区での高齢化率は本年6月現在で37.1%と久留米市においても上位に位置しています。また、核家族化が進み高齢者の一人暮らしや、高齢者のみ世帯が増加している中、隣近所との交流も希薄化しているように思われます。このような状況において、住み慣れた場所で安心して暮らしていくには、やはり近隣の住民同士による見守りが必要となっています。

そのような折、久留米市より「支え合い推進会議」の設置について事業説明が行われ、平成32年度までには全校区での普及を目指していると知りました。金島校区まちづくり振興会においても、取り組むことを決定し、平成28年8月にいち早くスタートしました。

当初は委員の選出に時間がかかりましたが、27人の役員方の参加のもとに取り組みを開始しました。現在は、定期的に会議を開催しています。

#### 支え合い推進会議

地域で福祉やまちづくりに取り組む様々な人々が参加し、地域で困っている人に気づき、支え合う仕組みづくりについて生活支援コーディネーターの協力の下、協議する場のこと。久留米市では平成32年度までに全46校区に設置することを目指しています。

#### 地域包括ケアシステム

介護や支援が必要な状態になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療・介護・生活支援などが包括的に提供されるしくみ。



# ボランティア 交差点

## 筑後信用金庫の地域貢献

### — 信用金庫のつなぐ力 —

6年前の九州北部豪雨

信用金庫のつなぐ力で



黒川地区 果樹園の泥だし作業

筑後信用金庫は、現在も金庫をあげて、昨年の九州北部豪雨災害の被災地、朝倉市へのボランティア活動を継続しています。

5月には、土砂で埋もれた畑でも、比較的育てやすい「島らっきょう」畑の農作業に従事しました。

継続して、被災地へ

筑後信用金庫では、小学生や高校生向けの「金融教室」、「金融トラブル被害にあわなかったための講演会」を開くなど、数々の地域貢献活動を実施しています。

また、平成24年の九州北部豪雨災害をきっかけとして、豪雨や地震の災害による被災地でのボランティア活動に、延べ520人を超える人たちが積極的に取り組んでおられます。

一方、時間とともにボランティア活動への参加者も急激に減少していきます。

災害ボランティアセンターは日常生活の回復を目的として支援しますが、時間の経過とともに被災地が求める活動は変化します。

災害の時は、星野村を中心に活動。また熊本地震災害の折は福岡県内信用金庫合同でボランティア活動に駆けつけました。



杷木 災害ボランティアセンターにて

被災された人たちは、先が見えない不安の中、ボランティアさんが減っていくことに大変落胆されるそうです。

そのような中、農地や果樹園の復旧を支援する活動は被災地の皆さんの心の支えとなっています。

ボランティア活動だけでなく、義援金、見舞金も、遠くは関東や、九州一円の信用金庫のネットワークで支援の輪が広がっています。

筑後信用金庫の継続した被災地への支援活動は、被災された人に寄り添うボランティアとなっています。

#### 【ボランティア活動に関するお問い合わせ】

ボランティアセンター(市社会福祉協議会内)

TEL 0942・34・3035

FAX 0942・34・3090

ホームページ/

<http://www.heartful-volunteer.net>

メールアドレス/ [heartful@kumin.ne.jp](mailto:heartful@kumin.ne.jp)



#### 久留米市内の 学生ボランティアが交流

5月26日、荘島体育館で、くるめ学生ネットワーク交流会が開催されました。

「くるめ学生ネットワーク」は市内の大学の学生ボランティアグループの連携・交流・協働を目的に設立された組織です。

この日は、3大学6団体・36人が参加し、各団体が活動状況を発表し、ソフトバレーボールなどのスポーツを通して交流が行われました。



## お知らせ

## 中高生ボランティア体験講座

参加者募集

ボランティアをやってみたい、障害についてもっと理解したい…  
この機会に一緒に楽しく学んでみませんか？たくさんのご応募をお待ちしております。

日時・内容	①手話で話そう	8月8日(水)	9:00～16:30
	聴覚障害と簡単な手話について学びます		
日時・内容	②みんなでバスハイク	8月9日(木)	8:40～16:30
	聴覚に障害のある子どもたちとバスハイク		
集合場所	市総合福祉センター(長門石1-1-34)		
対象	・市内の中学生、高校生 合計20人 ・両日参加可能な方 ・講座後、障害者のイベント支援や街頭募金等のボランティア活動に参加可能な方		
費用	・参加費無料・お弁当あり		



## 【申込み・問い合わせ】

市社会福祉協議会  
地域福祉課 ボランティアセンター  
TEL 0942・34・3035  
FAX 0942・34・3090  
E-mail/heartful@kumin.ne.jp

## 【申込み方法】

市社会福祉協議会へお電話または、FAXにて

①氏名／②住所／③連絡先／④学年をお伝えください。

申込み締切は平成30年7月27日です。(応募多数の場合は抽選)

## 8月～10月 校区别献血日程 予定表

	校区・地域	日程	場所	受付時間
8月	城島地域	9日(木)	城島げんきかん(城島保健福祉センター)	10:00～12:30/13:30～15:30
	田主丸地域	22日(水)	田主丸総合支所	10:00～13:00/14:00～15:30
			㈱野口機工	9:30～12:00
			JAにじ 田主丸支店	14:00～16:00
9月	合川	6日(木)	ゆめタウン久留米	10:00～12:00/13:00～16:00
	長門石	7日(金)	総合福祉センター	10:00～12:30/13:30～15:00
	青峰	14日(金)	青峰校区コミュニティセンター	10:00～12:00
	大善寺	18日(火)	大善寺校区コミュニティセンター	10:00～12:30/13:30～15:00
	山川	26日(水)	山川校区コミュニティセンター	10:00～12:30/13:30～15:00
	上津	29日(土)	コミュニティセンター上津校区会館	10:00～12:30/13:30～15:00
10月	大城	3日(水)	大城ますかぎセンター	10:00～12:00
	金島	3日(水)	神代病院	14:00～16:00
	弓削	3日(水)	弓削コスモス館	10:00～12:00
	南	4日(木)	南校区コミュニティセンター	10:00～13:00/14:00～15:30
	北野	10日(水)	コスモすまいる北野	10:00～12:00/13:00～15:30

## 薬を飲んでいても大丈夫？

「薬を飲んでいるから献血できない…」と思われる方はいらっしゃいませんか？血圧を下げる薬や、アレルギー治療薬などは、飲んでいても献血にご協力いただけることがあります。薬の名前や目的がわかるものをご持参ください。薬を飲んでいても、薬の種類、症状、その日の体調などを考慮して、検診医が最終的な判断を行います。ご協力いただける方はぜひ献血会場にお越しください。

献血の日程は、市社会福祉協議会のホームページでもご覧になれます。フェイスブックやツイッターも随時更新しています。

## 【問い合わせ】

久留米市献血推進協議会  
(市社会福祉協議会内)  
TEL 0942・34・3035  
FAX 0942・34・3090  
E-mail/k-syakyo@kumin.ne.jp





# 芳志ありがとうございました

寄付者一覽(敬称略)

平成30年3月1日から

5月31日まで

## 正 会 員

西国分校区社会福祉協議会  
 莊島校区社会福祉協議会  
 日吉校区社会福祉協議会  
 小森野校区社会福祉協議会  
 金丸校区社会福祉協議会  
 東国分校区社会福祉協議会  
 御井校区社会福祉協議会  
 南校区社会福祉協議会  
 合川校区社会福祉協議会  
 山川校区社会福祉協議会  
 上津校区社会福祉協議会  
 高良内校区社会福祉協議会  
 草野校区社会福祉協議会  
 安武校区社会福祉協議会  
 荒木校区社会福祉協議会  
 善導寺校区社会福祉協議会  
 青峰校区社会福祉協議会  
 船越校区社会福祉協議会  
 水縄校区社会福祉協議会  
 田主丸校区社会福祉協議会  
 水分校区社会福祉協議会  
 竹野校区社会福祉協議会  
 川会校区社会福祉協議会  
 弓削校区社会福祉協議会  
 北野校区社会福祉協議会  
 大城校区社会福祉協議会  
 浮島校区社会福祉協議会  
 吉田 哲磨(宮ノ陣)

## 賛 助 会 員

荒木 征洋(諏訪野町)  
 岡 リツ子(野中町)  
 土屋 尚之(城南町)  
 一 個人 会 員  
 樺 昭人(莊島町)  
 渡辺すみ子(日吉町)  
 安元トモエ(大石町)  
 滝内 俊則(白山町)  
 田中 安子(津福本町)  
 尋木 洋子(津福本町)  
 執行 満(長門石町)  
 清水 昭子(長門石町)  
 田中 浄祐(御井町)  
 佐田 好司(御井町)  
 井上フチノ(御井町)  
 田中 力(南町)  
 碓 松子(南町)  
 大石マサ子(太郎原町)  
 牛嶋カズエ(上津町)  
 落合 尚芳(高良内町)  
 手柴 誠一(高良内町)  
 佐藤フサ子(宮ノ陣町)  
 柴田 強起(山本町)  
 江崎美由紀(草野町)  
 古賀 秀心(安武町)  
 山中千枝子(荒木町)  
 近藤 明(荒木町)  
 津留崎千鶴子(大善寺町)

## 社会福祉事業寄付金

西野 守利(福岡市)  
 (株)マミーズ西牟田店(筑後市)

## 香典返し寄付金

永田 順子(故 栄二)(京町)  
 待鳥 孝子(故 直政)(南町)



あなたの会費が久留米の福祉を進めます

## 平成30年度 社会福祉協議会 会員加入のお願い

市社会福祉協議会では、「福祉への住民参加」をめざし、社協会員制度に取り組んでいます。

会費は、地域福祉活動推進の財源として有効に活用させていただきます。

会員の種類	会費(年額)
賛助会員 (本会活動の趣旨に賛同いただける方)	個人1口 1,000円
	法人1口 5,000円

### 【加入方法】

市社会福祉協議会窓口(各支所含む)にて入会振込による申し込み  
 (筑邦銀行の専用振込用紙を送付します)

### 【問い合わせ】

市社会福祉協議会 総務課  
 TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090

## 西日本鉄道(株)新入社員が体験

～お客さまの安全・安心・ときめきのために～

5月29日、西日本鉄道(株)は新入社員の研修を行いました。この日は車イスや、アイマスクを使った障害者疑似体験のほか、高齢者疑似体験セットを装着して電車に乗り、自分自身で実際に障害や加齢による不自由さを体験をしました。体験した職員からは、「車イスに乗り階段を降ろしてもらうことが怖かった」「目が見えないと情報量が少なく不安だった」などの感想があり、積極的に声かけやサポートを行い、お客様に安心して利用していただくことの大切さを学びました。



点字ブロックに沿って歩きます

## ～ お 詫 び と ご 紹 介 ～

4月発行の共同募金特集号で共同募金へ1万円以上のご寄付をされた方々をご紹介しましたが、次の方々が掲載されておりませんでした。お詫びして、ご紹介させていただきます。

【山本校区】(敬称略)

久留米リハビリテーション病院

(株)西日本仮設リース

東洋ラミテック(株)

平田ナーセリー



ご協力  
 ありがとうございました



# 久留米市成年後見センター便り⑮

市成年後見センターでは、成年後見制度に関する相談などを行っています。特に専門的な相談に関しては毎週木曜日に弁護士相談も行っています。事前にご予約のうえ、お気軽にご相談ください。

市成年後見センター弁護士が、成年後見制度に関する疑問にシリーズで答えていきます。

Q. 専門職の方が親の成年後見人として選任されました。今後はこの方が親の面倒を全てみてくれるのでしょうか。

A. 成年後見人の業務は大きく分けて「財産管理」と「身上監護」の二つになります。財産管理とは、不動産・現金・預金通帳などの財産を本人に代わって安全に管理し、年金の受け取りや入院費用や施設の利用料の支払いなどを行うことです。身上監護とは、介護サービスの利用、病院への入院、施設への入所などに必要な契約を行う「法律行為としての身上監護」を行うことで、食事や排泄の介助、清掃、病院の付き添いなどの「事実行為としての身上監護」は成年後見人の職務の範囲外とされています。この他、成年後見人は、医療行為への同意、身元保証人等になることもできません。このように、成年後見人が選任されてもご本人の全てを担うわけではなく、家族・親族や関係者の方々の協力を求めることがあります。

## 相談時間

月曜～金曜／8時30分～17時15分  
(土・日・祝日・年末年始はお休みです。)

相談は無料です。

※弁護士相談は事前に予約が必要です。

## 【問合わせ】

市成年後見センター  
(市社会福祉協議会内)  
TEL 0942・30・2732  
FAX 0942・34・3090

## 今回の担当弁護士

せいすい  
青翠法律事務所  
宮崎 智美 弁護士



## 「くるめ福祉」アンケート

次の質問にお答えください。

### 【質問】

- ①どの記事が一番印象に残りましたか。
- ②こんな記事があったらいいなと思うものはありますか。
- ③その他、何かご意見があればお寄せください。

お寄せいただいた方には、抽選で5人の方に500円分のクオカードを差し上げます。

なお当選者の発表は、クオカードの発送をもって代えさせていただきます。

【送付締切】 平成30年8月15日(水)必着

【送付方法】 住所、氏名、電話番号を記入の上、郵便又はメールでお寄せください。

### 【送付先】

〒830-0027  
久留米市長門石1丁目1番34号  
久留米市社会福祉協議会  
「くるめ福祉広報係」宛

メール 題名に「くるめ福祉広報係」と記載  
アドレス heartfelt@kumin.ne.jp

### 【ご意見・問合わせ】

市社会福祉協議会 地域福祉課  
TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090

## 福祉のしごと就職フェア 2018 in FUKUOKA

日 時 8月4日(土)  
就活応援セミナー 11:00～11:50  
(受付:10:30～)  
就職面談会 12:00～16:00  
(受付:10:30～15:50)  
会 場 クローバープラザ 大ホール ほか  
(福岡県春日市原町3-1-7)  
問合わせ 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会  
TEL 092・584・3310  
FAX 092・584・3319



## 福祉の職場ホリデイガイダンス 求人・求職面談会in筑後

日 時 9月2日(日) 13:00～15:30  
(受付:12:30～15:00)  
内 容 ○求職者と福祉施設等との面談  
○福祉関係資格相談  
○求職相談・求職登録  
会 場 久留米シティプラザ5階大会議室  
問合わせ 市社会福祉協議会 生活支援課  
TEL 0942・34・3035  
FAX 0942・34・3090

